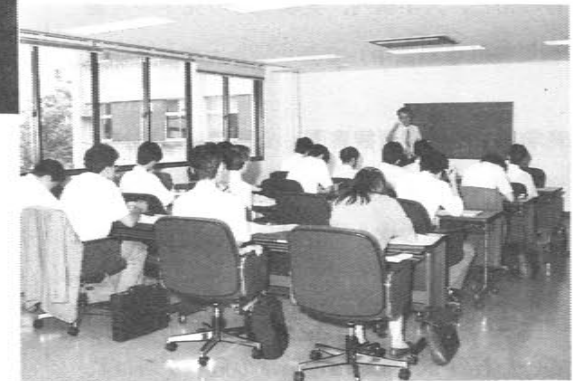


神戸大学学報

No. 408

1990.9 庶務部庶務課発行



《神戸大学共同研究開発センター第1回技術者養成研修》

目 次

◇学内ニュース.....	2
◦ 高校生への神戸大学説明会の開催	
◦ 教育学部（農場実習観察園）公開講座の実施	
◦ 第6回理学部公開講座の実施	
◦ 神戸大学共同研究開発センター第1回技術者養成研修の実施	
◦ 第3回宮農技術大学講座（但馬・豊岡地区）の実施	
◦ 神戸大学スポーツ教室（バスケットボール）の実施	
◦ 神戸大学スポーツ教室（中高年者健康運動教室）の実施	
◦ 第21回神戸大学公開講座の受講申込受付結果	

◦ 平成2年度学内レクリエーション「魚釣大会」の実施結果	
◦ 平成2年度公務員レクリエーション共同行事神戸地区「ボウリング大会」の実施結果	
◇法令.....	5
◦ 規則	
◇学内規則.....	5
◇人事.....	8
◦ 異動 ◦ 研修等 ◦ 海外渡航	
◇掲示板.....	15
◦ 職員の住所変更等	
◇日誌.....	15
◇訂正.....	16
◇神戸大学50年史編集室だより.....	17

学内ニュース

◇高校生への神戸大学説明会の開催

高校生への大学説明会が7月25日（火）から8月3日（金）の間、各学部において開催されました。

これは、大学の情報を提供し、受験生に大学選択の参考となるよう、昭和62年度から実施しているものです。

今年度は、主に兵庫県・大阪府下の高校3年生を対象として、各学部ごとに日程を設定して実施し、全学部で約680名の参加がありました。

説明会は、大学及び学部の概要・特色・授業、学生生活及び平成3年度入試についての説明・質疑応答のあと、大学構内、実験室等の見学が実施されました。

—入試課—

◇教育学部（農場実習観察園）公開講座の実施

教育学部（農場実習観察園）公開講座の閉講式を8月11日（土）午後4時40分から教育学部 B 202 教室において実施しました。

本講座は、7月21日（土）から毎週土曜日に開催していたもので、地球環境破壊の危機が叫ばれている昨今、人間と自然の関わり合い、自然環境と共存・共生等について農業を中心とした自然問題を「自然と人間の生活」と題して、社会人に学習する機会を提供することを主たる目的として実施したもので、園芸実習を含め、計4日間8講義を行いました。

受講者63名のうち6講義以上を受講した42名に対し修了証書を授与しました。

—教育学部—

◇第6回理学部公開講座の実施

理学部では7月31日（火）から8月3日（金）まで「生物の進化と系統・地球を探る」をテーマに、理科系の高等学校教員等を対象として公開講座を実施しました。

本講座では、藻類の系統、光合成生物の進化、陸上植物の進化と系統、火山噴火と災害、地球と隕石中ダイヤモンドの起源及び地球科学の将来と地震予知について、最近の手法による成果を織り込んで平易に解説しました。

受講者は、熱心に受講され、講義後の質疑応答も活発に行われました。

また、最終日にささやかな懇親会を講師を交えて行い、終始和やかなうちに終わりました。

なお、受講者40名のうち39名に修了証書を授与しました。

—理学部—

◇神戸大学共同研究開発センター第1回技術者養成研修の実施

神戸大学共同研究開発センター（センター長 藤井 聡 農学部教授）では、8月20日（月）～22日（水）、27日（月）～29日（水）の6日間に亘り、第1回技術者養成研修（バイオテクノロジーコース）を実施しました。

この研修は、現在、急速な発展を遂げつつあるバイオテクノロジーを理解するとともに、この先端技術に即応できる技術者を養成するためのもので、対象は、この方面に未だ不案内の企業の技術者となりました。

今回は、微生物及び植物を対象とするバイオテクノロジーに関する基礎的な講義（16時間）及び基礎的技術の実験指導（24時間）のカリキュラムが組まれ、12名の教官が分担して指導に当たりました。

受講者は、定員15名のところ、1名超過の16名で、全員熱心に受講し、活発な質問等があり、超過時間の調整に苦慮するほどでした。

研修終了後は、同センターの各施設の見学及び講師と受講者との懇談会を行い、このセンターの理解を深めてもらうとともに、指導に当たった講師と受講者の交流を深めました。

—農学部—

◇第3回宮農技術大学講座（但馬・豊岡地区）の実施

前回の淡路島・三原地区につづいて、第3回宮農技術大学講座を8月6日（月）と8月7日（火）の両日、但馬地域地場産業振興センターにおいて実施しました。

この講座は地元の要請を受け、「但馬の環境を生かした農業技術の発展のために」をテーマに、豊岡市役所・豊岡市農業協同組合及び豊岡農業改良普及所の後援を得て実施したものです。

初日の開講式では西川委員長のあいさつのあと、地元から今井豊岡市長、尾形豊岡市農協組合長の歓迎のあいさつがあり、午前9時30分から、「農業の海外事情と国際化」、「農村地域（豊岡）における農業の活性化」、午後から「農産物の品質と土づくり」、「有機農業と消費者」と続きました。

2日目は、午前は「バイオテクノロジーの開発と利用」、「高付加価値型農業と今後の農業経営」、午後は「食品産業の現状と未来」、「食物の栄養と健康」の講義が行われ、厳しい自然的背景の下で環境保全に留意しつつ、時代に即応した地域農業の在り方を探求し、高度な営農形態を確かなものとして維持させることを要望する地元に対して、営農並びに生活に必要な基礎知識及び新知識の講義が行われ、また、地元関係者の多大の御協力により成功裡に講座を終了することができました。

なお、受講者150名（男子136名、女子14名）全員に修了証書を授与しました。



—農学部—

◇神戸大学スポーツ教室（バスケットボール）の実施

神戸大学スポーツ教室（バスケットボール）を8月1日（水）から8月7日（火）までの間、教養部体育館において実施しました。

このスポーツ教室は、現代バスケットボールの知識と基本技術を修得することにより、バスケットボールの面白さを味わうとともに、体力の増進と健康維持をはかることを目的として毎年開催されています。

今年度は中学男子27名の受講者が野村治夫教授の指導のもと、熱心に受講し、受講者全員に修了証書を授与しました。

—教養部—

◇神戸大学スポーツ教室（中高年者健康運動教室）の実施

神戸大学スポーツ教室（中高年者健康運動教室）を7月23日（月）から8月30日（木）までの間、平川和文助教授、岡田修一講師及び高田義弘助手の指導のもと、教養部体育館及びグラウンドにおいて実施しました。

このスポーツ教室は、健康・体力の維持増進をはかることを目的として、開催されたものです。

なお、受講者は11名で、全員に修了証書を授与しました。

—教養部—

◇第21回神戸大学公開講座の受講申込受付結果

第21回神戸大学公開講座の受講申込受付（受付場所：神戸大学庶務課と神戸市役所市政情報室）を8月25日（土）に締切りしました。

本年度で21回目を迎えるこの講座は、9月8日（土）に開講し、11月10日（土）までの毎週土曜日（祝日を除く）の8日間にわたり「'90年代の世界と日本」をメイン・テーマに「世界の政治・経済のうねり」、「災害と安全を考える」、「環境問題をめぐって」及び「21世紀に向けての日本」の4グループで16講義を行います。受講者は305

名（男子215名、女子90名）で、最高齢者は79歳の男子、最年少者は18歳の女子となっており、第1回からの延受講者数は7,493名となります。

また、この中には第1回から連続して受講される方が、3名含まれています。受講者の構成は下表のとおりとなっています。

年齢別構成

年 齢 別	男	女	計
10 歳 代	1	1	2 (0.7)
20 歳 代	2	15	17 (5.5)
30 歳 代	11	13	24 (7.9)
40 歳 代	34	21	55 (18.0)
50 歳 代	35	21	56 (18.4)
60 歳 代	76	14	90 (29.5)
70 歳 代	56	5	61 (20.0)
80 歳 代	0	0	0 (0.0)
白 紙	0	0	0 (0.0)
合 計	215	90	305 (100.0)

受講回数別構成

受講回数別	男	女	計
初めて受講	61	35	96 (31.5)
受講歴1回	61	25	86 (28.2)
2回	25	8	33 (10.8)
3回	14	4	18 (5.9)
4回	13	6	19 (6.3)
5回	8	4	12 (3.9)
6回	8	2	10 (3.3)
7回	3	0	3 (1.0)
8回	4	1	5 (1.6)
9回	2	0	2 (0.7)
10回	3	2	5 (1.6)
11回	5	0	5 (1.6)
12回	1	0	1 (0.3)
13回	1	1	2 (0.7)
14回	0	0	0 (0.0)
15回	1	0	1 (0.3)
16回	0	0	0 (0.0)
17回	1	1	2 (0.7)
18回	0	1	1 (0.3)
19回	1	0	1 (0.3)
20回	3	0	3 (1.0)
合 計	215	90	305 (100.0)

職業別構成

職 業 別	男	女	計
給与所得者			
会社員技	17	1	18 (5.9)
会社員事	44	26	70 (23.0)
公務員技	5	2	7 (2.3)
公務員事	24	11	35 (11.5)
教 員	1	2	3 (1.0)
そ の 他	6	3	9 (3.0)
自営			
農・林業	1	0	1 (0.3)
水産業	0	0	0 (0.0)
工 業	1	0	1 (0.3)
商 業	1	0	1 (0.3)
そ の 他	9	0	9 (3.0)
主婦	—	30	30 (9.8)
学 生	0	2	2 (0.7)
無 職	87	9	96 (31.4)
そ の 他	9	2	11 (3.6)
白 紙	10	2	12 (3.9)
合 計	215	90	305 (100.0)

学歴別構成

学 歴 別	男	女	計
大 卒	95	13	108 (35.4)
短大・高専卒	24	19	43 (14.1)
高・中・小卒	50	40	90 (29.5)
そ の 他	38	13	51 (16.7)
白 紙	8	5	13 (4.3)
合 計	215	90	305 (100.0)

居住地別構成

居 住 地 別	男	女	計
神戸市			
灘 区	28	19	47 (15.4)
東灘区	33	12	45 (14.8)
垂水区	22	7	29 (9.5)
須磨区	15	6	21 (6.9)
北区	20	11	31 (10.1)
長田区	8	3	11 (3.6)
中央区	7	7	14 (4.6)
兵庫区	8	3	11 (3.6)
西区	6	0	6 (2.0)
小 計	147	68	215 (70.5)
明石市	7	3	10 (3.3)
芦屋市	4	3	7 (2.3)
尼崎市	7	3	10 (3.3)

伊 丹 市	1	1	2 (0.7)
加 古 川 市	5	3	8 (2.6)
川 西 市	2	0	2 (0.7)
宝 塚 市	6	2	8 (2.6)
西 宮 市	20	2	22 (7.2)
姫 路 市	1	0	1 (0.3)
三 木 市	4	1	5 (1.7)
津 名 郡	0	1	1 (0.3)
佐 用 郡	1	0	1 (0.3)
養 父 郡	1	0	1 (0.3)
揖 保 郡	1	0	1 (0.3)
美 褒 郡	0	1	1 (0.3)
加 古 郡	0	1	1 (0.3)
神 崎 町	1	0	1 (0.3)
大 阪 市	2	0	2 (0.7)
池 田 市	1	0	1 (0.3)
枚 方 市	1	0	1 (0.3)
高 槻 市	2	0	2 (0.7)
豊 中 市	1	1	2 (0.7)
合 計	215	90	305 (100.0)

* ()内の数字は%を示す。

—庶務課—

◇平成2年度学内レクリエーション「魚釣大会」の実施結果

学内レクリエーション行事として恒例の魚釣大会が、8月26日（日）午前6時15分から午後1時30分まで垂水沖において開催されました。

当日は、好天に恵まれ、残暑厳しい瀬戸の海に57名の大公望たちが日頃の腕を競いました。

結果は、魚種を問わず総重量により判定し、次のとおりとなりました。

優 勝	山内 孝（附属病院）	3.52 kg
第2位	鷹濱 和博（庶務部）	2.76 kg
第3位	池田 廣信（教育学部）	2.75 kg

—人事課—

◇平成2年度公務員レクリエーション共同行事

神戸地区「ボウリング大会」の実施結果

神戸地区の官庁職員が相互に親睦を図ることを目的としているレクリエーション行事の「ボウリング大会」が8月29日（水）グラウンド六甲ボウリ

ングセンターにおいて開催されました。

当日は、21機関31チーム124名（本学から4名）が参加し、熱戦が繰り広げられ、本学職員チームが第3位に入賞しました。

第3位	堀 幹夫（法 学 部）
	西村 幹仁（経営学部）
	影山 廣道（ " ）
	池田 至成（ " ）

—人事課—

法 令

◇規則

人事院規則16—0—9 人事院規則16—0（職員の災害補償）の一部を改正する人事院規則（平成2年8月24日付官報）

学 内 規 則

◇神戸大学理学部規則の一部を改正する規則

（平成2年8月29日制定）

改正要点

授業科目を整備したこと。

神戸大学理学部規則の一部を改正する規則
神戸大学理学部規則（昭和29年6月4日制定）の一部を次のように改正する。

別表第1数学科の表中

授業科目	単位
数学科	

を

「数学科

授業科目	単位
授業科目	

に改め、同表物理学科の表中

授業科目	単位
物理学科	

を

「物理学科

授業科目	単位
授業科目	

に、

「原子物理学 2」を

原子物理学	2
地球科学概論Ⅰ	2
地球科学概論Ⅱ	2

に、

「流体力学 2」を

流体力学	2
物理学情報処理	2

に、

「物理実験Ⅱ 2」を

物理実験Ⅱ	2
地球科学実験	2

に改め、

同表化学科の表中

授業科目	単位
化学科	

を

「化学科

授業科目	単位
分子分光	2

」に、

分子分光	2
------	---

を

「分子分光 2」に、

生物化学Ⅱ	2
構造化学	2

を

「生物化学Ⅱ 2
 生物学概論Ⅰ 2
 生物学概論Ⅱ 2」に改め、

化学特別演習	1
--------	---

を

削り、「有機化学実験Ⅱ 1」を

有機化学実験Ⅱ	1
生物学基礎実験	2

に、「特別研究 12」を

特別研究	12
特別演習	1

に改め、

同表生物学科の表中

授業科目	単位
生物学科	

を

「生物学科

授業科目	単位
基礎生物学Ⅰ	2
基礎生物学Ⅱ	2

」に、

生物学実験ⅠA	1
生物学実験ⅠB	1
生物学実験ⅠC	1
生物学実験Ⅱ	3
生物学実験Ⅲ	3

を

「化学概論Ⅰ 2
 化学概論Ⅱ 2
 生物学実験ⅠA 2
 生物学実験ⅠB 1
 生物学実験ⅡA 2
 生物学実験ⅡB 1
 生物学実験ⅢA 2
 生物学実験ⅢB 1
 化学基礎実験 2」に、

特別研究Ⅰ	6
特別研究Ⅱ	12

を

「特別研究 12」に改め、
 (注) 特別研究はⅠ又はⅡのいずれかを履修するものとする。」を削り、同表

地球科学科の表中

授業科目	単位
地球科学科	

を

「地球科学科

授業科目	単位
岩石学実験A	1
岩石学実験B	1

」に、

「岩石学実験 2」に、

地震学実習A	1
地震学実習B	1

を

「地震学実習 2」に、

地質学野外実習Ⅰ-A	1
地質学野外実習Ⅰ-B	1

を「地質学野外実習Ⅰ 2」に、

地球電気磁気学実験	2
-----------	---

「実験A 1
 実験B 1」を

地球電気磁気学実験	2
-----------	---

に、

「地球化学実験 2
 物理学概論Ⅰ 2
 物理学概論Ⅱ 2
 物理学基礎実験 2」に改める。

附 則

- この規則は、平成2年8月29日から施行し、改正後の神戸大学理学部規則の規定は、平成2年4月1日から適用する。
- 平成2年3月31日において現に在学する学生については、なお従前の例による。ただし、教授会の定めにより改正後の授業科目を履修させることができるものとする。

◇神戸大学大学院理学研究科規則の一部を改正する規則

(平成2年8月29日制定)

改正要点

- 分科及び授業科目を整備したこと。
- 教員の免許状の種類を改めたこと。

神戸大学大学院理学研究科規則の一部を改正する規則

神戸大学大学院理学研究科規則(昭和56年4月1日制定)の一部を次のように改正する。

別表第1の分科の項中「物性理論」を「物性理論、固体量子論」に、「構造化学」を「構造化学、有機金属化学」に改める。

別表第2 物理学専攻の表中

磁性論	2
量子物性学	2

「量子物性学 2
 磁性論 2
 固体量子論 2」に改め、同表化学専攻の表中

「量子化学特論 2」を

量子化学特論	2
有機金属化学	2

に改め

る。

別表第3 中

高等学校教諭専修免許状	数 学
高等学校教諭専修免許状	理 科

を

中学校教諭専修免許状	数 学
高等学校教諭専修免許状	理 科

に改める。

附 則

- この規則は、平成2年8月29日から施行し、改正後の神戸大学大学院理学研究科規則の規定は、平成2年4月1日から適用する。
- 平成2年3月31日において現に在学する学生については、なお従前の例による。



人 事

◇異動

所属部局 官 職	氏 名	発令 月 日	異 動 内 容 (異動前の所属官職)
附属図書館 (情報サービス課)	森 美和子	9. 1	8月31日限り退職 (事務補佐員)
法 学 部 助 教 授	品 田 裕	9. 1	昇任(京都大学法学部助手)
〃	中 野 俊一郎	8.19	復職
理 学 部 教 授	向 井 正	9. 1	採用
医 学 部 教 授	龍 野 嘉 紹	9. 1	配置換(滋賀医科大学医学部教授)
助 教 授	貝 淵 弘 三	〃	昇任(講師)
〃	山 下 克 子	8.31	辞職(助教授)
助 手	山 崎 克 人	9. 1	配置換(医学部附属病院助手)
〃	藤 井 正 彦	〃	〃 (〃)
〃	正 井 栄 一	〃	転任(神戸検疫所検疫課厚生技官)
〃	栗 山 雅 之	9. 1	採用
〃	安 野 博 彦	8.31	辞職(助手)
〃	松 井 律 夫	〃	〃 (〃)
〃	田 中 浩 司	〃	〃 (〃)
事務補佐員	浅 井 みゆき	9. 1	採用
〃	中 村 佳 子	8.31	辞職(事務補佐員)
医 学 部 附 属 病 院			
助 手	副 島 俊 典	9. 1	採用
〃	米 澤 和 之	〃	〃
〃	田 中 豊	〃	〃
〃	土 師 守	8.31	辞職(助手)
第二内科 病棟医長	森 田 須美春	8.16	命(助手)

医学部助手	乾 明 夫	8.16	免(第二内科病棟医長)
放射線科 外来医長	藤 井 正 彦	9. 1	命(医学部助手)
泌尿器科 外来医長	中 川 泰 始	〃	〃 (助手)
(理学療法部)			
(薬剤部)	藤 原 典 子	8.31	辞職(作業療法士)
薬 剤 師	服 部 弥枝子	9. 1	採用
(看護部)			
看 護 婦	大 野 篤 子	8.20	職務復帰
(医事課)			
〃	門 脇 美 紀	8.31	辞職(事務補佐員)
教 養 部			
助 手	青 木 茂 樹	9. 1	採用

◇研修等

＊平成2年度大学図書館職員長期研修

期 間 平成2年7月16日～8月3日

会 場 図書館情報大学

主 催 文部省及び図書館情報大学

参加者 附属図書館情報管理課

情報システム掛長 北村 文男

＊平成2年度近畿地区大学厚生補導職員研修会

期 間 平成2年7月31日～8月3日

会 場 滋賀県立文化産業交流会館

主 催 文部省、中部地区学生補導厚生研究会
近畿地区部会、滋賀大学

参加者 厚生課課長補佐 海野 興治

学生課課外活動掛 喜多 紀文

法学部教務学生掛教務主任

堀 幹夫

工学部教務学生掛 浦田 勇二

＊第7回行政研修基礎課程(係長級)

期 間 平成2年7月10日～8月8日

会 場 人事院公務員研修所

主 催 人事院公務員研修所

参加者 庶務部国際主幹付留学生掛長

鷹濱 和博

＊平成2年度神戸大学工学部技術職員研修

期 間 平成2年8月21日～8月23日

会 場 工学部視聴覚教室

主 催 神戸大学工学部

参加者 工学部建築学科 木山 正典

〃 電気工学科 北山 良和

〃 〃 原田 和男

〃 〃 米森 秀登

〃 機械工学科 中崎 千善

〃 〃 福井喜一郎

〃 〃 道脇 昭

〃 〃 杉本 勝美

〃 土木工学科 小林 秀恵

〃 〃 前田 浩之

〃 〃 榎谷 正夫

〃 工業化学科 小池あゆみ

〃 計測工学科 菊田 望

〃 〃 山崎 義治

〃 〃 後藤 隆雄

◇海外渡航

所 属	職 名	氏 名	渡 航 先	渡 航 目 的	渡航期間	備 考
文 学 部	助教授	横田 冬彦	スペイン モロッコ	第17回国際歴史学会議出席及び比較史に関する資料収集のため	2. 8.24 2. 9.10	研 修
〃	〃	小田部胤久	フランス ドイツ連邦共和国	国際十八世紀学会東西セミナー出席及び芸術学に関する資料収集のため	2. 8.31 2. 9.13	〃
文 化 学 研 究 科	助 手	松尾 洋二	中華人民共和国	「孫中山とアジア」国際学術討論会出席及び中国史に関する資料収集のため	2. 8. 1 2. 8.31	〃
教育学部	助教授	横尾 能範	オーストラリア シンガポール	保健情報処理に関する共同研究及び資料収集のため	2. 8.17 2. 9.11	〃
〃	〃	魚住 和晃	中華人民共和国	書道及び書道史に関する研究交換のため	2. 8.17 2. 8.27	〃
〃	教 授	坂本 龍生	大韓民国	韓国肢体不自由児教育研究会出席のため	2. 8.19 2. 8.22	〃
〃	助教授	城 仁士	カナダ	P U C C (環太平洋大学共同体会議)出席のため	2. 8.19 2. 8.25	〃

工学部化学工学科 野村 恵司

〃 〃 吉村 徳夫

〃 生産機械工学科 日和 千秋

〃 〃 山西 秀幸

〃 電子工学科 伊地知武吉

〃 〃 土居原知良

〃 〃 山中 和彦

〃 システム工学科 藤井 勝宏

〃 〃 近藤 敦

〃 〃 大西 和夫

〃 環境計画学科 出水 浩一

〃 〃 西野 孝仁

〃 〃 佐藤真奈美

〃 〃 〃

〃 附属土地造成
工学研究施設 市成 準一

〃 工作技術センター 高濱 邦高

〃 〃 山田 昌利

〃 〃 和気 大知

〃 〃 大槻 正人

一人事課一

教育学部	助教授	永岡 慶三	カナダ アメリカ合衆国	P U C C (環太平洋大学共同体会議) 及び日米教育コンピュータシンポジウム出席並びに教育工学に関する資料収集のため	2. 8. 19 2. 8. 27	研 修
"	"	末本 誠	フランス 連合王国	フランス成人教育史に関する資料収集及び研究交換のため	2. 8. 22 2. 10. 2	"
"	教授 (学生部長)	熱田 公	ドイツ連邦共和国	日本中世史研究会議出席及び日独中世史比較研究に関する資料収集のため	2. 8. 30 2. 9. 10	"
"	教授	小原 喜雄	ドイツ連邦共和国, ベルギー, スイス, オーストリア, アメリカ合衆国, カナダ	92年 E C 統合及び欧州・北米に対するその影響に関する調査	2. 8. 13 2. 1. 6	"
"	助教授	久米 郁男	アメリカ合衆国	政府一産業関係に関する日米研究会議及び米国政治学会大会出席のため	2. 8. 24 2. 9. 3	"
"	教授 (夜間学部主事)	芹田健太郎	インドネシア 中華人民共和国 シンガポール, オーストラリア	国際シンポジウム「ODA—今求められる日本の海外援助哲学」出席及び国際法に関する研究交換	2. 8. 29 2. 9. 4	"
"	教授	村上 敦	中華人民共和国 シンガポール インドネシア, 香港	国際シンポジウム「ODA—今求められる日本の海外援助哲学」出席及び貿易と開発に関する研究交換のため	2. 8. 12 2. 9. 3	"
"	助教授	松永 宣明	ラオス	ラオス経済事情に関する資料収集及び人材開発プログラム実施のため	2. 8. 18 2. 9. 3	出張
"	教授	足立 英之	スペイン	第6回計量経済学会世界大会出席及び報告のため	2. 8. 21 2. 8. 30	研 修
"	助教授	小川 一夫	"	"	2. 8. 21 2. 8. 29	"
経営学部	"	得津 一郎	スペイン シンガポール	計量経済学会第6回世界大会出席・発表及び情報管理論に関する資料収集	2. 8. 19 2. 9. 4	"
"	教授 (評議員)	奥林 康司	ドイツ民主共和国 ハンガリー, ポーランド チェコスロヴァキア	東欧への日本企業の投資に関する調査及び企業経営に関する資料収集	2. 8. 22 2. 9. 5	"
理学部	教授	安川 克己	中華人民共和国	泰嶺造山帯の地質構造と古地磁気学的形成史の研究のため	2. 8. 7 2. 9. 2	出張
"	助手	井口 博夫	"	"	"	"
"	"	味村 良雄	大韓民国	第5回 K I T 数学シンポジウム出席, 講演及び2次形式に関する研究のため	2. 8. 7 2. 8. 13	研 修
"	"	北川 円	ドイツ連邦共和国 連合王国 イタリア	酵母のミトコンドリアリボソームに関する共同研究及びDNA塩基配列に関する研究交換のため	2. 8. 7 2. 11. 1	"
"	助教授	増田 嘉孝	チェコスロヴァキア ドイツ連邦共和国 スイス, 連合王国	第41回国際電気化学会及びヘイロブスキー100周年記念ポーラログラフ学会出席並びにイオン電極及びセンサー膜交換に関する研究交換のため	2. 8. 18 2. 9. 1	"
"	"	北添 徹郎	アメリカ合衆国	素粒子物理学に関する研究交換のため	2. 8. 20 2. 8. 30	"
"	教授	永井旺二郎	"	生物物理学及び凝縮系物理学並びに酸化超伝導に関する研究交換のため	2. 8. 23 2. 9. 3	"

理学部	教授	宇井 忠英	ドイツ連邦共和国 スペイン領カナリヤ諸島	1990年国際火山学会議出席のため	2. 8. 25 2. 9. 18	研 修
"	"	榎本 幸人	イタリア	地中海産緑藻類の分類学的研究のため	2. 8. 25 2. 9. 22	"
"	"	磯野 克己	ハンガリー ドイツ連邦共和国 フランス	枯草菌ゲノム解析のための国際会議出席及び遺伝学に関する研究交換のため	2. 8. 27 2. 9. 7	"
医学部	助手	荻田 浩司	アメリカ合衆国	1990年アメリカ実験生物学会出席及び生化学に関する研究交換のため	2. 8. 3 2. 8. 26	出張
"	教授	伊東 宏	"	小児悪性腫瘍に関するシンポジウム出席及び小児悪性腫瘍に関する研究交換のため	2. 8. 6 2. 8. 14	"
"	"	西塚 泰美	アメリカ合衆国 ハンガリー, オランダ	欧州生化学連合年会第6回国際細胞内分泌学シンポジウム及び第3回糖蛋白に関する国際会議出席並びに生化学に関する研究交換のため	2. 8. 9 2. 8. 30	"
"	助手	宇佐美 真	ドイツ連邦共和国 スイス	第15回国際癌学会出席及び外科学に関する研究交換のため	2. 8. 10 2. 8. 22	研 修
"	教授	片岡 徹	アメリカ合衆国	ラス蛋白質に関する研究交換のため	2. 8. 13 2. 8. 25	"
"	"	前田 盛	ドイツ連邦共和国	第15回国際癌学会出席のため	2. 8. 15 2. 8. 22	出張
"	助教授	大柳 治正	ドイツ連邦共和国 スウェーデン, ノルウェー	第15回国際癌学会出席及び消化器外科学に関する研究交換のため	2. 8. 16 2. 8. 26	研 修
"	講師	藤盛 孝博	ドイツ連邦共和国 連合王国	第15回国際癌学会出席及び潰瘍性大腸炎の長期経過例に関する研究交換のため	2. 8. 18 2. 8. 28	出張
"	教授 (医学部長)	本間 守男	ドイツ連邦共和国	第8回国際ウイルス学会議出席のため	2. 8. 23 2. 9. 2	"
"	助手	伊藤 正恵	ドイツ連邦共和国 スペイン	第8回国際ウイルス学会議出席及びウイルス学に関する研究交換のため	2. 8. 25 2. 9. 14	"
"	"	杉本 利嗣	アメリカ合衆国	第12回米国骨代謝学会出席及び骨代謝に関する研究交換のため	2. 8. 25 2. 9. 5	研 修
"	教授	藤田 拓男	"	米国骨鉱質学会出席のため	2. 8. 27 2. 9. 2	"
"	助教授	宇賀 昭二	オーストラリア	細菌及び寄生虫による尿路感染症に関する資料収集及び情報交換のため	2. 8. 29 2. 9. 5	出張
"	"	船原 芳範	インドネシア	国際シンポジウム「ODA—今求められる日本の海外援助哲学」出席及び生理学に関する研究交換のため	2. 8. 30 2. 9. 10	研 修
医学部 附属病院	助手	竹内 素志	アメリカ合衆国	冠動脈形成術研究会出席及び内科学に関する研究交換のため	2. 8. 12 2. 8. 20	"
"	講師	加藤 道男	ドイツ連邦共和国 イタリア オーストリア	第15回国際癌学会出席及び胃癌に関する研究交換のため	2. 8. 16 2. 8. 29	"

医 学 部 附属病院	助教授	黒田 嘉和	アメリカ合衆国	第13回国際移植学会出席及び肝・脾移植に関する研究交換のため	2. 8. 19 2. 8. 31	出張
"	教授 (薬科部長)	奥村 勝彦	トルコ, フランス スイス	第50回国際薬学連合会議出席及びベ ブチド微粒子の肺吸収に関する研究 交換のため	2. 8. 27 2. 9. 9	"
"	助教授	土井 邦紘	インドネシア	食生活と糖尿病についての研究のため	2. 8. 27 2. 8. 30	"
"	講 師	深瀬 正晃	アメリカ合衆国	第12回米国骨代謝学会出席のため	2. 8. 27 2. 9. 1	研 修
工 学 部	助 手	青木 和徳	ギリシア	第20回半導体物理に関する国際会議 出席及び半導体非線形電気伝導並び にカオスに関する研究交換のため	2. 8. 3 2. 8. 16	"
"	"	黒江 康明	アメリカ合衆国 フィンランド ソヴィエト社会主義共 和国連邦	第11回国際自動制御連盟世界会議及 び第2回パワーエレクトロニクスに おける計算機に関するIEEEワー クショップ出席並びに制御工学の応 用に関する研究交換	2. 8. 3 2. 8. 21	出張
"	助教授	塩崎 賢明	アメリカ合衆国	合衆国の産業構造転換過程における 都市問題に関わる調査及び資料収集	2. 8. 7 2. 8. 23	"
"	講 師	西村正太郎	アメリカ合衆国 カナダ	IEEEシステム工学に関する国際 会議及び回路とシステムに関する第 33回中西部シンポジウム出席	2. 8. 7 2. 8. 17	研 修
"	教 授	北村 新三	フィンランド, ソヴィエト 社会主義共和国連邦 ドイツ連邦共和国	第11回国際自動制御連盟世界会議出 席及びニューラルネットワークに関 する研究交換	2. 8. 10 2. 8. 27	出張
"	助教授	本郷 昭三	アメリカ合衆国 カナダ	第5回固体薄膜と表面に関する国際 会議出席及び表面物理に関する研究 交換	2. 8. 10 2. 9. 2	"
"	"	田中 克己	オーストラリア	第16回大規模データベースに関する 国際会議出席及びデータベースに関 する資料収集	2. 8. 12 2. 8. 21	"
"	教 授	芦田 道夫	アメリカ合衆国	第12回国際電子顕微鏡学会議出席及 び有機薄膜の微細構造と配向に関す る研究交換	"	研 修
"	助教授	上原 邦昭	ドイツ連邦共和国	第12回国際電子顕微鏡学会議出席及 び有機結晶の超微細構造解析に関す る研究交換	"	"
"	講 師	上田 裕清	アメリカ合衆国	第12回国際電子顕微鏡学会議出席及 び有機結晶の超微細構造解析に関す る研究交換のため	"	"
"	助 手	山田 隆	"	第12回国際電子顕微鏡学会議及び電 子エネルギー損失ワークショップ出 席並びに合金薄膜の構造に関する研 究交換	2. 8. 12 2. 8. 24	"
"	教 授	早川 和男	中華人民共和国	歴史的都市の保全と近代化に関する 北京国際シンポジウム出席及び環境 施設計画に関する研究交換	2. 8. 14 2. 8. 27	"
"	助教授	安藤 四一	スウェーデン ドイツ連邦共和国 インドネシア	第2回日本, スウェーデン騒音影響 シンポジウム及び第6回国際精神物 理学会年次大会出席及び騒音制御に 関する研究交換	2. 8. 14 2. 8. 26	"
"	講 師	田村 直之	スウェーデン フィンランド	第13回計算言語学国際会議 (COL LING'90) 出席及び機械翻訳に関す る研究交換	2. 8. 14 2. 8. 28	出張

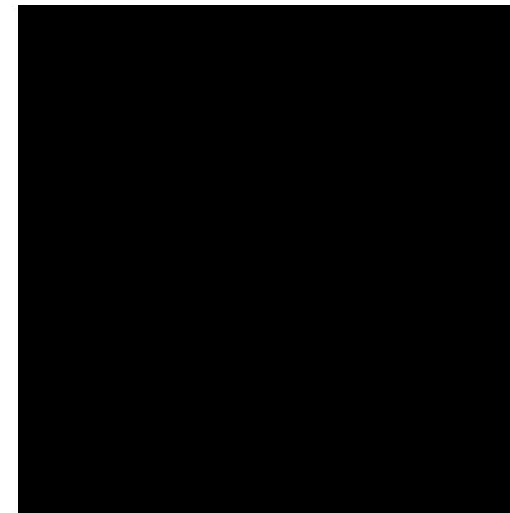
工 学 部	助教授	高田 至郎	フィリピン	フィリピン地震の調査	2. 8. 15 2. 8. 23	研 修
"	教 授	三好 旦六	アメリカ合衆国 カナダ	エレクトロソフト90国際会議出席及び 半導体光デバイスに関する研究交換	2. 8. 16 2. 8. 31	出張
"	講 師	浦野 俊夫	ドイツ連邦共和国 連合王国	固体表面に関する資料収集及び研究 交換	2. 8. 16 2. 10. 20	"
"	"	小川 真人	アメリカ合衆国 カナダ	エレクトロソフト90国際会議出席及 び量子構造の物理に関する研究交換	2. 8. 16 2. 9. 1	研 修
"	教 授	片岡 邦夫	イスラエル	第9回国際伝熱会議出席	2. 8. 17 2. 8. 26	"
"	文部技官	谷本 道子	中華人民共和国	中国の住宅事情に関する調査	2. 8. 18 2. 8. 27	出張
"	教 授	多淵 敏樹	シンガポール オーストラリア インドネシア	国際シンポジウム「ODA-今求め られる日本の海外援助哲学」出席及 び建築史に関する研究交換	2. 8. 20 2. 9. 3	研 修
"	"	室崎 益輝	フィリピン	地域開発と地震防災に関する資料収 集	2. 8. 20 2. 8. 26	出張
"	"	田中 栄一	中華人民共和国	ボタン認識に関する情報交換	2. 8. 22 2. 8. 31	研 修
"	"	森脇 俊道	ドイツ連邦共和国	第40回国際生産加工研究者会議出席 及び生産工学に関する研究交換	2. 8. 24 2. 9. 3	出張
"	講 師	西村正太郎	オーストラリア	信号処理とその応用に関する第2回 国際シンポジウム出席並びに回路と システムに関する研究交換	2. 8. 24 2. 8. 31	研 修
"	教 授	高森 年	ベルギー オランダ	システムシミュレーションにおける 数学的・知的モデルに関する国際会 議出席及びメカトロニクス工学に関 する研究交換	2. 8. 28 2. 9. 13	出張
"	助教授	賀谷 信幸	チェコスロヴァキア ドイツ連邦共和国 フランス	第23回国際電波連合総会出席及びマ イクロ波無線送電に関する資料収集	2. 8. 28 2. 9. 11	"
"	"	多田 幸生	アメリカ合衆国	第1回生体力学世界会議出席及び生 体システムに関する研究交換	2. 8. 30 2. 9. 6	"
"	助 手	田所 諭	ベルギー	システムシミュレーションにおける 教学的・知的モデルに関する国際会 議出席及びロボット工学に関する研 究交換	2. 8. 30 2. 9. 11	研 修
農 学 部	教 授	松中 昭一	ドイツ連邦共和国 ハンガリー	第7回国際農業化学会議及び除草剤 解毒剤国際会議出席・発表	2. 8. 4 2. 8. 17	出張
"	助教授	津川 兵衛	アメリカ合衆国	クズの利用に関する意見交換と資料 収集	2. 8. 7 2. 8. 14	研 修
"	教 授	豊澤敬一郎	ブラジル ペルー	第16回世界牛病学会出席・発表及び 実験動物管理に関する意見交換・資 料収集並びに農場視察	2. 8. 10 2. 8. 24	出張
教 養 部	"	川口 正昭	シンガポール マレーシア	第25回高エネルギー物理学国際会議 出席及び情報処理関係の教育研究施 設の視察のため	2. 8. 1 2. 8. 12	研 修

教養部	教授 (教養部長)	後藤 博彌	中華人民共和国	国際学術研究による中華人民共和国 華南地塊の古生代層の地質調査	2. 8. 7 2. 8. 18	出張
"	教授	和田 信二	連合王国 フランス ポルトガル	第19回低温物理学国際会議出席及び 高温超伝導に関する研究交換	2. 8. 13 2. 9. 14	"
"	助手	小林 達生	連合王国 フランス	第19回低温物理学国際会議出席及び 高温超伝導に関する研究交換並び に資料収集のため	2. 8. 13 2. 8. 28	研修
"	助教授	野谷 啓二	アメリカ合衆国 連合王国	アメリカ合衆国ニューハンプシャー 大学において言語教育と英語・英米 文学の研究及び資料収集並びに連合 王国オックスフォード大学キャンピ オンホールにおいて、宗教文学の研 究及び関連資料の収集のため	2. 8. 15 3. 8. 10	"
"	教授	寛 久美子	カナダ アメリカ合衆国	第33回国際アジア・北アフリカ研究 会議出席及び中国文学に関する資料 収集のため	2. 8. 18 2. 9. 22	"
"	"	依田 博	シンガポール オーストラリア インドネシア	国際シンポジウム「ODA—今求め られる日本の海外援助哲学」出席及 び政治学に関する研究交換	2. 8. 21 2. 9. 10	"
自然科学 研究科	助手	遠州 尋美	アメリカ合衆国	「合衆国の産業構造転換過程におけ る都市問題」に関わる調査及び資料 収集	2. 8. 1 2. 11. 15	出張
"	"	兵藤 政幸	中華人民共和国	秦嶺造山帯の地質構造と古地磁気学 的形成史の研究	2. 8. 7 2. 8. 18	"
"	講師	松田 光正	アメリカ合衆国	第1回世界バイオ・メカニクス会議 出席及び肺の力学に関する研究交換 のため	2. 8. 28 2. 9. 8	研修
経済経営 研究所	教授	井川 一宏	ケニア エジプト	貿易関連現地企業の実態調査及び貿 易実践指導者コース帰国研修員のフ ォローアップのため	2. 8. 8 2. 8. 25	出張
"	助教授	西島 章次	ラオス	ラオス経済事情に関する資料収集及 び人材開発プログラム実施のため	2. 8. 18 2. 9. 3	"
"	"	下村 和雄	オーストラリア	オペレーションズリサーチ1990(オペ レーションズ・リサーチに関するウィーン 国際学会) 出席及び報告のため	2. 8. 25 2. 9. 4	研修
医療技術 短期 大学部	教授	磯部 敬	ノルウェー	第6回国際アミロイドーシスシンポ ジウム出席のため	2. 8. 3 2. 8. 12	"
"	助手	講武 芳英	アメリカ合衆国 カナダ	第8回電気生理運動学国際会議及び 理学療法に関する研究交換及び資料 収集のため	2. 8. 11 2. 8. 21	"
"	助教授	片岡 陳正	オーストラリア	細菌及び寄生虫による尿路感染症に 関する資料収集及び情報交換のため	2. 8. 29 2. 9. 5	"

掲 示 板

◇職員の仕事変更等

・新任者住所



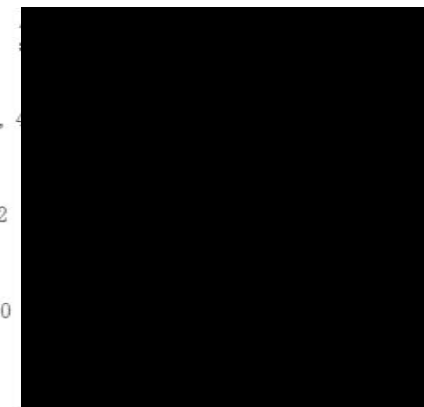
・住所・住居表示変更

p.24

p.45,

p.212

p.250



日 誌

(平成2年8月)

8月26日(日) 学内レクリエーション「魚釣大会」

29日(水) 公務員レクリエーション共同行事神戸地区「ボウリング大会」



◇訂正

学報 No	頁	誤	正																																				
405	2	●勤続35年表彰 <table><tr><th>所 属 部 局 等 名</th><th>氏 名</th></tr><tr><td>附属図書館情報サービス課</td><td>西 村 英 子</td></tr><tr><td>法 学 部</td><td>畑 浩 一</td></tr><tr><td>経 営 学 部</td><td>坂 元 昌 朗</td></tr></table>	所 属 部 局 等 名	氏 名	附属図書館情報サービス課	西 村 英 子	法 学 部	畑 浩 一	経 営 学 部	坂 元 昌 朗	●勤続35年表彰 <table><tr><th>所 属 部 局 等 名</th><th>氏 名</th></tr><tr><td>附属図書館情報サービス課</td><td>西 村 英 子</td></tr><tr><td>法 学 部</td><td>畑 浩 一</td></tr><tr><td>経 営 学 部</td><td>坂 元 昌 朗</td></tr><tr><td><u>医学部附属病院</u></td><td><u>冠 崎 艶 子</u></td></tr></table>	所 属 部 局 等 名	氏 名	附属図書館情報サービス課	西 村 英 子	法 学 部	畑 浩 一	経 営 学 部	坂 元 昌 朗	<u>医学部附属病院</u>	<u>冠 崎 艶 子</u>																		
所 属 部 局 等 名	氏 名																																						
附属図書館情報サービス課	西 村 英 子																																						
法 学 部	畑 浩 一																																						
経 営 学 部	坂 元 昌 朗																																						
所 属 部 局 等 名	氏 名																																						
附属図書館情報サービス課	西 村 英 子																																						
法 学 部	畑 浩 一																																						
経 営 学 部	坂 元 昌 朗																																						
<u>医学部附属病院</u>	<u>冠 崎 艶 子</u>																																						
407	7	<table><tr><td>工 学 部</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>助 教 授</td><td>安 田 一 則</td><td>8. 1</td><td>昇任(助手)</td></tr><tr><td><u>事務補佐員</u></td><td>猪 多 絵 美</td><td>”</td><td>採用</td></tr><tr><td></td><td>辻 村 あかね</td><td>7. 30</td><td>辞職(事務補佐員)</td></tr></table>	工 学 部				助 教 授	安 田 一 則	8. 1	昇任(助手)	<u>事務補佐員</u>	猪 多 絵 美	”	採用		辻 村 あかね	7. 30	辞職(事務補佐員)	<table><tr><td>工 学 部</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>助 教 授</td><td>安 田 一 則</td><td>8. 1</td><td>昇任(助手)</td></tr><tr><td><u>農 学 部</u></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td><u>事務補佐員</u></td><td>猪 多 絵 美</td><td>8. 1</td><td>採用</td></tr><tr><td></td><td>辻 村 あかね</td><td>7. 30</td><td>辞職(事務補佐員)</td></tr></table>	工 学 部				助 教 授	安 田 一 則	8. 1	昇任(助手)	<u>農 学 部</u>				<u>事務補佐員</u>	猪 多 絵 美	8. 1	採用		辻 村 あかね	7. 30	辞職(事務補佐員)
工 学 部																																							
助 教 授	安 田 一 則	8. 1	昇任(助手)																																				
<u>事務補佐員</u>	猪 多 絵 美	”	採用																																				
	辻 村 あかね	7. 30	辞職(事務補佐員)																																				
工 学 部																																							
助 教 授	安 田 一 則	8. 1	昇任(助手)																																				
<u>農 学 部</u>																																							
<u>事務補佐員</u>	猪 多 絵 美	8. 1	採用																																				
	辻 村 あかね	7. 30	辞職(事務補佐員)																																				
407	26,28	26頁の表と28頁の表を入れ替える																																					



神戸大学50年史編集室だより

一歴史のひとこま一

前身校の歴史——兵庫県明石女子師範学校——
教育学部の母胎となった前身諸学校の中に兵庫県明石女子師範学校（のちに兵庫師範学校女子部と改称すると共に官立専門学校となる）があった。この明石女子師範学校は、明治30年代に顕著になる女子の就学率の増加とそれに伴う女子教員の需要の増大という社会情勢に刺激されて、明治34年兵庫県によって設置されたものである。

前年の33年12月、県知事あてに提出された県会の女子師範学校設置意見書をみると、「本県教育事業ニ於ケル施設ハ逐年拡張シ、男子教育ニ対シテハ殆ド遺憾ナキニ至リタリ」と男子教育については施設も充実し行き届いた状態になってきたが、一方女子教育については「女子教育ハ尚大イニ拡充ヲ図ラザルベカラザル」という状態であり、「女子ノ特性ニ適切ナル小学教育ノ設備ヲ為スベキ」と知事自身が訓令したこともあって、県会としては「女子教育ノ状態ハ依然旧時ノ觀ヲ改メザルハ……（中略）……大イニ遺憾トスル所ニシテ、女子師範学校ノ新設ハ切ニ希望スル所ナリ」とされ、知事に対して「県下女子教育ノ実情ヲ査察シ、教育上最モ適當ナル明石郡明石町ノ地ヲ相シ、女子師範学校ノ設計ヲ為シ、経費予算ヲ本会ニ提案セラレンコトヲ望ム」とされた。

こうした積極的な県会の動きによって9万円余という予算もスムーズに可決され、明治35年6月

意見書どおり明石の地で校舎建築が着手され、翌36年2月東京女子師範学校教諭の藤堂忠次郎が初代校長として任命された。

当時の生徒定員は120名であったが、同年4月に実施された入試には県外を含め234名が志願し、内43名が合格した。競争率5.4倍という厳しさで、新設された女子師範学校に対する期待が相当大きかったことがうかがえる。

しかしながら大正の初めころになると、全国的に女子教員無用論が起り、大正3年12月には兵庫県会でも明石女子師範学校廃止建議案が突然提出され、満場一致をもって通過したことがあった。その後も女子教員に関する議論は益々厳しさを増したが、時の井田校長は大正5年8月県に対し調査要項を内申し、男女教員の相異について述べ、教授上・訓育上・執務上その他において女子教員の優れた点を明白にし、また次の志村校長も女子教員が幼年教育、芸術教育、女兒の体育・訓育において活動すべき場を持っており、女子教員がもっと積極的になるべきことなどを論じた。

こうした歴代の校長の努力もあって明石女子師範学校は、その後も県下教育界に多数の女子教員を送り出すと共に、その役割は益々重要となった。昭和18年4月には兵庫県師範学校と合併し、兵庫師範学校女子部と改称し、専門学校に昇格し、戦後の学生改革に伴って神戸大学教育学部明石分校となったのである。